

2019年度前期の最新トピックスをご紹介!

拓大のいま

拓殖大学は「国際教育のパイオニア」として、2019年度もさまざまな取り組みを行っています。

ここでは、前期における主なトピックスをご紹介いたします。

1

TAKUDAI
Topics



福田勝幸理事長、三期目就任のご挨拶

2019年6月15日、皆様のご推挙により引き続き理事長職を務めることになりました。一期目の就任は2011年。当時に比べ「少子高齢化」や「地方の過疎化」は深刻化の道をたどる一方です。また、世界に目を向ければ「協調的なグローバル化」は「自国主義のグローバル化」に変化し、広がりつつあります。このような時代に求められるのは、自ら考え、積極的に行動し、真の意味での国際理解力をもつ人材です。各学部での専門教育に加えて、そのような力を身につける機会を提供していくかが、新しい時代の教育の主題になると考えています。

2020年度に新設する外国語学部国際日本語学科は、日本語をはじめとする語学に加え、海外に向けて日本文化を発信する力や、国際感覚を修得することを目的としたものです。また、外国語学部英米語学科および国際学部国際学科の定員増も決定いたしました。このように、本学ではグローバルに活躍できる人材の育成をめざし、今まで以上にさまざまな取り組みを行います。

そのために必要不可欠なのは、卒業生の皆様からのご支援です。学友会のみなさまには、オレンジ募金へのご寄附や、留学生研修旅行および体験学習などさまざまな形で大変お世話になっています。本学をさらに発展させるために、今後もお力添えいただきたいたいと思います。そして10代総長の矢部貞治先生が掲げられていた「学園共同体」構想にならい、教職員と学生、卒業生が一

体となるべく、さらなる連携を深めてまいりたい所存です。

拓殖大学で学んだことは、人生で困難に直面したときの支えになります。授業で得られた知識はもちろん、先生方とのふれあいや友達と一緒に汗を流した体験など、一つひとつを積み重ねていくことが、卒業後に大いに役立つのです。ですから、在学生の皆さんには勉強でも遊びでも、主体的に、積極的に挑戦して欲しいと思います。本学では引き続き、そのための支援や環境作りを行っていきます。

これからは、本学にとって大変重要な時代となることは間違いないありません。皆様には引き続きご指導とご協力のほどを申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。



拓殖大学 理事長
ふくだ かつゆき
福田 勝幸

1944年青森県生まれ。1967年
拓殖大学商学部貿易学科(現:
国際ビジネス学科)卒業。1979
年9月より拓殖大学学生主事室
(現:学生支援室)に勤務。その
後、学務部長、総務部長、事務
局長、常務理事を歴任。2011年
6月より現職。